

日刊 METAL RECYCLING JAPAN 市況通信

(昭和27年5月28日第3種郵便物認可) 1年81,000円 半年41,040円前納(月火水木金発行) 但し祭日は休刊(禁転載)

発行所

株式会社 日刊市況通信社

大阪本社 大阪市中央区日本橋1-17-20 日本橋丸ビル5F
電話 06(6631) 5651 番(代表)

東京本社 東京都千代田区東神田1丁目5-5 マルキビル4F
電話 03(3864) 6021 番(代表)

名古屋支社 名古屋市中村区豊国通1-26-1 大岡ビル4F
電話 052(411) 6521 番(代表)

振替口座 00880-3-11099 番

東日本市場の底入れ鮮明 東鉄宇都宮が1,000円値上げ 関東・新潟・東北で値上げ広がる

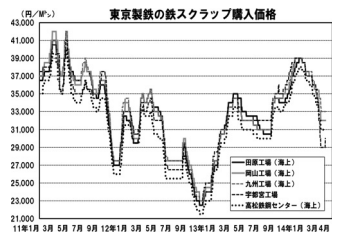
東京製鉄宇都宮工場が1日、鉄スクラップ購入価格を1トンあたり1,000円引き上げた。この動きに反応し、関東、新潟、東北電炉の値上げ改定が広がった。東日本市場ではすでに、船送りの活発化などを受けて電炉筋のウラ値やスポット価格の加算など実勢値上げが広がっていたが、建値の値上げ改定となったことで、北海道を除く東日本市場の「底入れ反発」が鮮明となった。

関東電炉の多くや新潟電炉は1日から1,000円どころの値上げを実施。東

北電炉は一部が一部品種の値上げ対応を行った。浜値の先行高で、東日本電炉はすでにウラ値やスポット価格の加算などで実勢相場を引き上げており、さらに一段高の動きで新年度入りとなった。

ただ、東日本相場は昨年末からの値下がり局面の際の下落幅が大きく、中部や西日本相場を大幅に下回っている。このため東日本市場では、「安値修正」や「値戻し」の印象が強く、「中部や西日本の価格水準に戻す動き」(商社筋)との見方が多い。

【東日本面に関連記事】



地球の未来を担うリサイクル技術 YAMANAKA

本社 川崎市幸区中幸町3-3-1
TEL 044(522)1161

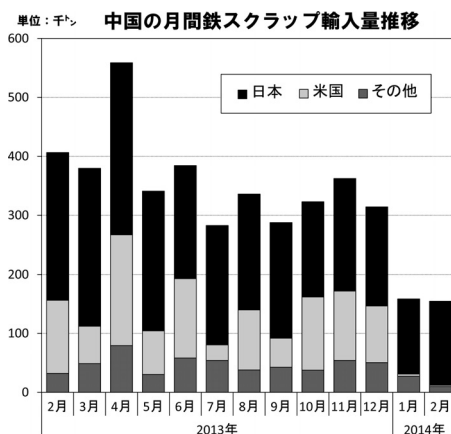
工場 川崎・横浜・大和・綾瀬・相模原・多摩・市原・戸田・栃木・騎西・白井・高崎・寄居・藤沢・仙台・小浜・山形・北上・秋田・郡山

中国の鉄スクラップ輸入量、2カ月連続15万トン台にどどまる

中国の月間鉄スクラップ輸入量が、2カ月連続で15万トン台にとどまる低い水準となった。中国の貿易統計によると、2月の中国の鉄スクラップ輸入量は前月比2.4%減、前年同月比61.9%減の15万4615トンだった。前月の1月は同49.6%減、同67.7%減の15万8478トンと、2008年6月の19万9316トン以来5年7カ月ぶりに20万トンを下回った。今年に入ってから同輸入量の縮小は著しい。

内訳では特に米国からの輸入量の減少傾向が目立つ。2月は同33.5%減、同98.0%減の2,463トンと、2カ月連続で1万トンを大きく下回る低い水準が続いている。

2月の日本からの輸入量は同11.9%増、同43.0%減の14万2484トンだった。7カ月連続で20万



トンを下回っているものの、他の落ち込みが大きいため、全体に占める割合は92.2%と9割を超えた。

弊社相談役(前社長) 小玉 視郎は
三月二十八日午後三時五十八分
八十六歳で死去いたしました
生前のご厚情を深謝し謹んでご通知申し上げます
なお葬儀および告別式は近親者のみで相営みまして
お別れの会を後日予定しております
平成二十六年四月二日

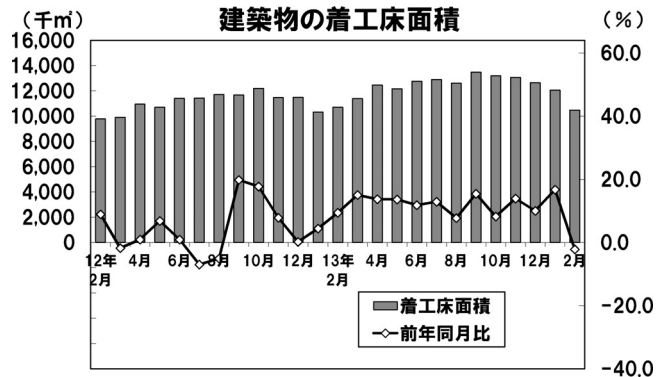
北九州市若松区北浜二丁目一六
株式会社 小玉商店

建築物
着工床面積18カ月ぶり前年比マイナス 2月1047万6千平方メートル
S造19カ月ぶり前年比減

国土交通省が発表した2月の建築物着工床面積は、前月比13.1%減、前年同月比2.2%減の1047万6千平方メートルだった。10月以降5ヵ月連続で減少し昨年1月(1032万6千平方メートル)以来の低水準となった。また、前年同月比は12年8月以来18ヵ月ぶりにマイナスに転じた。

構造別非木造のうち、鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造が前月比25.1%減、前年同月比10.7%減の27万平方メートル。鉄筋コンクリート(RC)造が同7.8%減、同8.4%減の239万4千平方メートル。鉄骨(S)造が同21.2%減、同2.0%減の367万3千平方メートル。対前年比は、SRC造が5ヵ月ぶり、RC造が2ヵ月ぶり、S造が12年7月以来19ヵ月ぶりにマイナスとなった。

建築主別実績は、公共物件が前月比20.8%減、前年同月比53.8%増の71万8千平方メートル。民間物件が同12.4%減、同4.8%減の975万9千平方メートル。民間は18ヵ月ぶりに前年比マイナスを記録した。



単位: 1,000平方メートル、%

	建築物 着工床面積	用途別着工床面積			
		非木造計	SRC造	RC造	S造
2月	10,476	6,401	270	2,394	3,673
前月	12,050	7,676	360	2,597	4,663
前年同月	10,712	6,704	302	2,613	3,748
13年度累計	137,765	79,855	3,216	27,337	48,416
前年実績	124,058	72,914	2,357	27,686	42,163
前年比	111.0%	109.5%	136.4%	98.7%	114.8%

炉前総合価格
(3月第5週末)

関東相場が底入れの動きで上伸 中部・関西は様子見横ばい

3月第5週の国内市況は、中部、関西地区が様子見横ばいの動きを続ける一方、関東相場が上伸した。船送りの活発化などを受けて関東相場は底入れの動きとなり、同地区の炉前総合価格が上伸した。このため3地区平均は年末年始をはさみ16週ぶりに上伸した。

3月第5週末(3月29日)のHS炉前総合価格は前週末比200円高、前年同週末比3,434円安の1トン3万2333円。H2は前週末比200円高、前年同週末比4,600円安の2万9567円。新断バラは前週末比200円高、前年同週末比3,533円安の3万3167円だった。

HS炉前総合価格				平均	関東	中部	関西
3月	第5週末	(3月29日)		32,333	32,000	31,500	33,500
	前週末			32,133	31,400	31,500	33,500
	前年同週末			35,767	36,300	34,500	36,500

H2炉前総合価格				平均	関東	中部	関西
3月	第5週末	(3月29日)		29,567	28,200	30,000	30,500
	前週末			29,367	27,600	30,000	30,500
	前年同週末			34,167	34,500	33,000	35,000

新断バラ炉前総合価格				平均	関東	中部	関西
3月	第5週末	(3月29日)		33,167	32,000	34,000	33,500
	前週末			32,967	31,400	34,000	33,500
	前年同週末			36,700	36,100	37,500	36,500

単位: 円/トン、日刊市況通信社調べ

私達は資源リサイクルに貢献します

With environment with society. Metal solution of the Fukuda metal.

SCRAP NETWORK PARTNER



福田金属株式会社

〒556-0022 大阪市浪速区桜川2丁目11-20
根来ビル2FTEL (06) 6567-2588
FAX (06) 6562-7098
E-mail fukuda@fukuda-kinzoku.co.jp

日本の鉄スクラップ輸出(2月)国別実績一覧

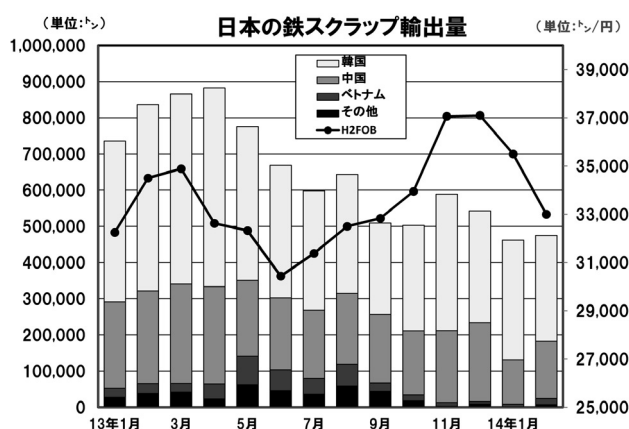
韓国向け、6割強占めるも3ヵ月連続前年比減

財務省・貿易統計による2月の日本からの鉄スクラップ輸出量は前月比2.8%増、前年同月比43.2%減の47万4776トンだった。3ヵ月ぶりに増加に転じたものの、前年同月比は9ヵ月連続でマイナスとなっており、減少率43.2%は年度内で最も大きかった。2013年度累計(4~2月)輸出数量は、前年同月比19.1%減の664万8311トンとなり、3年ぶりに減少することが事実となった。

2月輸出の仕向け先のトップは14ヵ月連続で韓国となり、29万2298トン(前月比11.7%減、前年同月比43.2%減)と全体の6割強を占めた。しかし、10月以来4ヵ月ぶりに30万トンを下回り、対前年比は3ヵ月連続でマイナスとなった。

韓国に次いで多い中国は15万8027トン(同29.4%増、同38.2%減)。2ヵ月ぶりに増加したが、対前年比は5ヵ月連続でマイナスとなった。

ベトナム向けは1万7075トン(同134.0%増、同37.3%減)。昨年9月以来5ヵ月ぶりの数量に達したが、前年比は5ヵ月連続でマイナスとなった。台湾向けは6,175トン(同2048.1%増、同79.7%減)だった。



2月後半から海外勢が日本玉調達への動き

日本国内相場の下落や最大需要国である韓国の引き合いが低迷したことで、日本の鉄スクラップ輸出価格は2月入り後も続落した。一方、米国玉価格はトルコ向け価格の底入れなどを受けて堅調に推移。日本玉には国際価格と比較して割安感が台頭したため2月後半から東南アジアや台湾などの海外勢が日本玉購入の検討を開始し、3月にかけて新規成約が進んだ。

日本のスクラップ輸出仕向け先別推移

(単位:トン)

		韓国	中国	台湾	香港	ベトナム	タイ	シンガポール	マレーシア	フィリピン	インドネシア	インド	その他	合計	前年同月比
07年度		3,308,579	2,472,013	396,896	27,269	186,101	12,796	1,406	1,564	228	9,985	8,632	7,266	6,432,736	85.3%
08年度		2,250,018	3,675,231	171,251	19,336	113,981	7,638	890	144	184	7,874	8,067	8,911	6,263,526	97.4%
09年度		4,306,649	4,023,030	358,269	23,981	171,269	8,017	640	11,823	321	49,141	8,804	2,976	8,964,919	143.1%
10年度		2,983,203	2,604,023	242,014	18,337	62,004	1,168	5,497	5,253	307	20,240	2,084	4,685	5,948,814	66.4%
11年度		3,255,778	2,534,441	50,307	22,143	46,580	43,764	538	332	2,506	5,108	390	4,349	5,966,234	100.3%
12年度	4月	397,301	294,625	6,634	765	13,520	12	22	0	45	988	327	152	714,392	206.5%
	5月	378,770	272,832	5,787	542	33,037	290	59	0	27	739	151	202	692,437	255.1%
	6月	442,156	227,501	21,421	761	26,424	0	22	0	21	7,369	20	61	725,755	192.6%
	7月	347,758	270,187	56,217	730	37,787	5,478	5,950	62	4	8,239	228	946	733,585	192.9%
	8月	480,431	201,969	6,054	622	31,061	65	28	5,011	0	547	60	266	726,115	148.3%
	9月	413,137	183,476	7,919	644	12,854	4,713	37	0	4	5,799	156	349	629,090	136.3%
	10月	498,852	254,229	5,622	680	25,281	144	29	140	0	6,812	389	1,218	793,396	179.7%
	11月	320,287	325,972	13,681	2,453	59,583	38	44	0	4	12,127	241	618	735,048	119.3%
	12月	378,721	408,672	42,724	799	27,397	63	63	4,774	0	27,444	193	546	891,396	140.3%
	1月	444,930	238,322	24,872	487	25,330	145	66	0	0	803	600	395	735,949	131.8%
	2月	514,899	255,836	30,420	372	27,225	193	91	9	2	6,434	640	354	836,476	119.2%
	3月	524,899	274,471	28,381	730	24,013	178	21	0	54	11,590	444	755	865,536	126.4%
合計		5,142,141	3,208,092	249,732	9,587	343,513	11,321	6,430	9,996	162	88,891	3,449	5,861	9,079,175	157.8%
前年比		157.9%	126.6%	496.4%	43.3%	737.5%	25.9%	1195.8%	3010.2%	6.4%	1740.2%	883.7%	134.8%	552.2%	—
13年度	4月	549,053	268,631	10,345	452	41,592	191	113	72	60	10,825	597	507	882,437	123.5%
	5月	424,374	210,050	49,607	500	78,159	169	47	74	54	10,937	661	711	775,344	112.0%
	6月	366,433	198,522	35,975	231	57,786	373	61	102	23	7,389	1,056	718	668,670	92.1%
	7月	329,550	189,047	33,598	142	43,607	2	56	188	210	689	734	537	598,361	81.6%
	8月	328,287	195,536	52,157	360	60,395	66	67	148	2	5,330	0	926	643,273	88.6%
	9月	252,025	190,073	31,940	403	22,819	161	5	0	4	10,884	0	813	509,127	80.9%
	10月	291,585	177,198	15,558	511	16,131	76	43	0	15	873	223	887	503,101	63.4%
	11月	376,867	198,901	533	445	10,080	19	10	24	0	1,286	185	402	588,753	80.1%
	12月	309,400	217,283	829	246	6,898	50	10	0	31	7,460	0	429	542,636	60.9%
	1月	331,085	122,125	287	132	7,297	32	21	73	11	137	0	635	461,836	62.8%
	2月	292,298	158,027	6,175	193	17,075	0	10	0	0	727	199	71	474,776	56.8%
合計		3,850,957	2,125,393	237,007	3,615	361,840	1,138	443	682	410	56,535	3,655	6,636	6,648,311	—
前年同期比		83.4%	72.4%	107.1%	40.8%	113.3%	10.2%	6.9%	6.8%	382.1%	73.1%	121.6%	130.0%	80.9%	—

出所: 財務省・貿易統計 (HSコード7204の合計)

(株)日刊市況通信社

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

「通常総会・全国大会」を6月6日(金)福岡で開催

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会(影島一吉 会長=影島興産・社長)は、「第39回通常総会」と九州支部(横溝淳弥支部長=福岡金属興業・社長)主管による「第26回全国大会」を6月6日金曜日に福岡で開催する。

通常総会に続き、全国大会では第1部に式典や、株ジャパネットたかた・高田明社長による『人生は挑戦の連続』を演題にした講演会が行われる。

また第2部の懇親会では、九州各地の地元食材を使った料理を屋台形式で提供するなど、各種趣向を凝らし、九州の魅力を堪能できる内容となっている。

またエクスカッションでは、6月6日金曜日に『九州国立博物館(常設展) 観覧・太宰府天満宮参拝』、翌日6月7日土曜日は『柳川川下り』が楽しめる日帰りバスツアー、そして『別府・湯布院』への温泉一泊旅行、さらに『韓国・釜山』への海外ツアーなど各種用意されている。

河東光浩実行委員長(=太信鉄源・社長)は、「全国大会まであとおよそ2か月。今まで25名の実行委員が9回にわたって実行委員会を開催してきた。グローバル&ローカルのテーマのもと九州支部の会員がひとつとなり、おもてなしのところで全国から多くの方を迎えたい」と話した。

また横溝支部長は「九州支部主管の全国大会は今年で4度目。現在(予備登録の段階で)、約560名程度の参加が見込まれ、過去最大規模の参加者になる。4月10日木曜日が『本登録締切』となっているので、まだの方は急ぎ手続きをお願いしたい。そしてローカルでありながらグローバルさを兼ね備えている九州・福岡

での大会をぜひたくさんの方に楽しんでいただきたい」と述べた。

第26回全国大会ならびにエクスカッション等のお問い合わせは、日本鉄リサイクル工業会九州支部・電話(097)578-6625まで。

【スケジュール】

第39回通常総会・第26回全国大会 式次第

日時 平成26年6月6日金曜日

会場 ホテル日航福岡

(福岡市博多区博多駅前2-18-25)

電話092-482-1111(代)

<http://www.hotelnikko-fukuoka.com>

受付 平成26年6月6日金曜日 正午より

内容 第39回通常総会 午後1時~午後2時

第26回全国大会

第1部 式典 午後2時15分~午後3時40分

コーヒープレイク

午後3時40分~午後4時

講演会 午後4時~午後5時30分

株式会社ジャパネットたかた

代表取締役 高田明様

演題「人生は挑戦の連続」

第2部 懇親会 午後6時30分~午後8時45分

【お問い合わせ】

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会
九州支部事務局

〒870-0108

大分市三佐1325-8 大分エコセンター(株)内

TEL(097)578-6625 FAX(097)578-6265

「第4回国際鉄リサイクル・フォーラム」聴講者募集

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会は委員会の一つ『国際ネットワーク委員会』主催による「第4回国際鉄リサイクル・フォーラム」を通常総会・全国大会の前日6月5日木曜日に福岡で開催する。

今回は中国の中国廃鋼鉄応用協会(CAMU)、韓国の韓国鉄鋼協会(KOSA)を招いて、それぞれの国の代表的な鉄スクラップ業者も参加し、各国の鉄スクラップ業界事情に焦点を当て議論を深める予定。参加無料。人数に限りはあるが、工業会会員以外でも聴講可能。

申込み締切は4月25日(金)。お申込み・お問い合わせは、日本鉄リサイクル工業会・事務局 電話(03)5695-1541まで。

第4回国際鉄リサイクル・フォーラム

◆日時 2014年6月5日(木) 14:00~17:00(開場13:30)

◆場所 TKP博多駅前シティセンター

福岡市博多区博多駅前3-2-1

日本生命博多駅前ビル8階

◆内容 第1部 テーマ『東アジアにおける鉄スクラップ需給の現状と見込み』

第2部 テーマ『東アジアにおける鉄リサイクル業の現在と未来』

◆お問い合わせ 日本鉄リサイクル工業会・事務局

電話(03)5695-1541

Mixed metal scrap: Kansai market flat but prices still weak at ¥30~32/kg

Prices flat but no sign, or hope, of an upturn

(Osaka) As of 25 March, the market for mixed scrap in Kansai was flat. The price for industrial grade mixed scrap was unchanged at ¥30~32/kg compared with the previous week, with highs of ¥35/kg in one or two places. Prices are maintaining a level in the ¥30/kg range without falling further, but no grades of mixed scrap are looking good and there continues to be no sign of a mood to return prices to higher levels. Chinese prices for steel and copper continue to hold a low price range and there is also no change in the surplus of stock at waterfront mixed scrap yards in China.

In both Japan and in China anxiety about the future means there is no positive purchasing of mixed scrap at present. Chinese buyers have noticed the slump in Japanese FAS prices and have opened price negotiations by pulling down their FOB price offers with the intention of "buying cheap scrap". One Japanese export trader reported that, "The Chinese are in a position of strength and are refusing to negotiate based on price offers made by the other party." Meanwhile, a Chinese trader commented that, "There is no mood that prices

Kansai and Kanto mixed metal scrap market Units: ¥/kg

Product	Kansai	Kanto
Mixed metal scrap	¥30-32/kg	¥30-33/kg
Motor mixed scrap (alternating-current)	¥45-50/kg	¥40-45/kg
Air-conditioners (external units with CFCs removed)	¥85-90/kg	¥80-90/kg
Water boiler mixed scrap	¥135-145/kg	¥130-140/kg
Insulated copper wire (40-43% copper content)	¥210-235/kg	¥220-235/kg

Prices researched by MRJ on 25 March for delivery to a waterfront yard or export shipper.

might increase so even if the unit price is low, there is no point in us purchasing low quality mixed scrap. It is pointless for us to buy scrap unless it is of a quality and quantity that we want". Both the Japanese and the Chinese sides of the market are bearish, anxious about the future, and trying to avoid risk. There is little expectation that prices might rise around Golden Week at the start of May, and the market seems resigned to a bearish mood for now.

In Japan, a mixed scrap exporter said, "We are getting hold of quantity but we don't have anywhere to put it. We can see no sign of FOB prices changing for the better and we are continuing to refuse one-off offers."

(日本文は3月26日3面と同じ)

ELV scrap in Kansai: Market flat and cautious this week

(Osaka) As of 27 March, the market for ELV scrap in Kansai was flat and cautious. The main reason for this was that there was no change in Tokyo Steel's buying price for scrap at its mills at either Okayama or Kyushu and the electric-arc furnace (EAF) steelmakers in the Osaka region continued to wait and see how the situation would develop. Prices for steel materials (underbody and bodywork scrap) recovered from ELVs dropped by ¥500 in one or two places but overall there were no great changes on the market last week.

On the ELV scrap market one dealer said, "It won't be long before the market stops falling", and although this feeling that a bottom mark might have been reached was spreading, another dealer reported that, "The market is still weak. There is a chance that it could still go one level lower". The market is a complete mix of bullish and bearish attitudes.

In terms of non-ferrous components recovered from ELVs, copper-based scrap went up ¥2 on 26 March to

ELV scrap prices	Western Japan	Eastern Japan
Steel components	Market price (¥/t)	Market price (¥/t)
Underbody and chassis	18,000-21,000	15,500-17,500
Engine blocks	44,000-46,000	41,500-45,500
Car bodywork scrap*	16,000-18,000	13,000-15,500
Pressed bodywork scrap*	18,000-21,000	15,500-17,500

*Includes 30% dust

Non-ferrous components	Market price (¥/kg)	Market price (¥/kg)
Catalysts (honeycomb catalyst, 1 piece)	5,500-6,100	5,800-6,300
Cable harnesses	255-270	200-220
Cells and dynamos	90-105	85-90
Aluminium radiators	60-65	50-60
Batteries	63-68	56-59
Aluminium wheels (1 piece)	155-160	142-152

Prices researched by MRJ on 27 March.

hit ¥720/kg, and this put a brake on the continued fall of copper. However, the economic situation in China remains ambiguous so cable harness scrap is still looking rather weak with highs in one or two places of ¥270~280/kg. Aluminium wheels are on a solid bottom with isolated highs of ¥165~180 per piece. Catalyst scrap (large) has highs of ¥7,300~7,500 in one or two places. White/black engine blocks have isolated highs of ¥46,000~47,500.

The market is in the middle of its usual hard struggle during March. One ELV scrap dealer said, "Just as we expected, there has been an inrush of ELVs being sent to us by car dealers since the middle of the month." While another scrap dealer said, "We are getting hold of a good number of ELVs. Yesterday we took delivery of more than 50 ELVs. Now is our chance to build up our stock levels." So it seems that the situation for ELV circulation is looking good. However, there are also some dealers who are now starting to feel resigned to lower levels of circulation from May onwards.

■Actual prices for light ELVs are at ¥12,000~16,000 per vehicle, with highs of ¥16,000~17,000 in one or two places. ELVs of under 1500cc are at ¥21,000~27,000 per vehicle and ELVs between 1501cc and 2000cc are at ¥27,000~34,000 per vehicle. ELVs of over 2000cc but less than 3000cc are at ¥34,000~40,000 per vehicle and ELVs of over 3000cc are at ¥40,000~47,000 per vehicle.

(日本文は3月28日2面と同じ)

(翻訳者: アンドリュー・セネック)

関東 東鉄宇都宮^{特級建値}が3万円回復 関東電炉各社、1,000円方値上げ

(東京) 東京製鉄宇都宮工場は1日、鉄スクラップ購入価格を1トンあたり1,000円値上げした。同工場の値上げ改定は11月26日以来。この値上げで、同工場の特級建値が3万円を回復した。これを受けて、関東各社の1,000円どころの値上げ改定が広がった。

関東地区では、湾岸商社・シッパー筋の集荷が活発化したことで市中玉の流通が分散、年度末にもかかわらず電炉入荷が振るわなかった。このため船送りと競合する南関東電炉が実勢買値を引き上げる動きが広がり、月末までに北関東電炉へも波及。この流れのまま新年度となり、建値の値上げ改定につながった。

関東地区のH2炉前実勢価格は2万8500～9500円中心、高値3万円見当へ1,000円方上伸した。H2浜値は2万9500円中心、高値3万円見当となった。輸出市場や西日

本市場に変化はないが、電炉との集荷競争のため安値が切り上がり、高値も出ている状況だ。

関東電炉の1日からの価格改定は以下の通り。

◇東京製鉄宇都宮、全品種1,000円値上げ、特級建値3万円。◇伊藤製鉄所筑波、全品種1,000円値上げ、特A建値2万8300円。◇王子製鉄(4月前半価格)、全品種1,000円値上げ、H2建値2万6200円。◇関東スチール、全品種1,000円値上げ、H2建値2万6000円。◇合同製鉄船橋、全品種1,000円値上げ。◇JFE条鋼東部、全品種500円値上げ、H2建値2万500円。◇城南製鋼所、全品種1,000円値上げ、特級建値2万8500円。◇千代田鋼鉄工業、全品種1,000円値上げ、特級建値1万9000円。◇東京鉄鋼小山、全品種1,000円値上げ、H2建値2万800円。◇東京鋼鉄、全品種1,000円値上げ。

東北・新潟 電炉各社、1,000円どころ値上げ 東北電炉2社は様子見姿勢

(東京) 東京製鉄宇都宮工場の値上げ改定を受けて、新潟電炉2社が同日、鉄スクラップ購入価格を1トンあたり1,000円値上げした。東北では一部電炉が一部品種のみ値上げ。ただ、両地区ともこれまでに実勢価格を引き上げる動きが広がっており、両地区とも相場は一段高の動きとなっている。

先高感が強まったことで市中発生がやや伸び悩んだほか、市中業者筋も先行きの動向を様子見する姿勢となったことから、両地区とも荷動きが停滞。このため電炉入荷が減少し、実勢価格を引き上げる動きが広が

っていた。東鉄の値上げへの対応も早かった。

新潟電炉2社が1日から値上げを実施したことで、同地区のH2炉前実勢価格は2万8000～9000円中心、高値2万9500円見当へ上伸した。東北電炉は、JFE条鋼仙台が甲山を1,000円値上げしたが、他電炉は様子見姿勢。ただ、これまでに実勢値上げを実施しており、同地区のH2実勢は2万9000～3万円中心、高値3万500円見当へ上伸している。

東北電炉の1日からの価格改定は以下の通り。

◇JFE条鋼仙台、甲山1,000円値上げ。

新北海鋼業、会社解散し清算手続きへ、営業権の一部を清水鋼鉄へ譲渡

(東京) 北海道電炉の新北海鋼業は、3月31日開催の臨時株主総会で、清水鋼鉄への営業権の一部譲渡を含め、会社を解散し清算手続きに入ることを決議した。同社は2月19日の取締役会で3月末の事業活動停止と営業権の一部譲渡を決め、検討を進めてきた。

同社は、2004年には年間粗鋼生産量が21万トンを超え、道内主要電炉3社の生産量合計に占める割合は30%を超えていた。しかし、2009年以降は年間10万トンを下回り、2013年の粗鋼生産量は約8万9000トン、道内シェアは15%程度に低下していた。

価値ある製品を生み出す三浦の機械 環境を守り資源を生かす

MIURA

—— OPR型新断用プレス機 ——



- 断断材の高速自動プレス
- 本社工場で完全試運転済
- 押し蓋、本体に刃物を標準装備
- コンパクト設計により省スペース化を実現
- 計量ホッパーの標準装備により製品寸法が均一

製品寸法: 250W×250H×250L(≒₁)

製品重量: 45kg～50kg

投入ボックス寸法: 800W×600H×1250L(≒₁)

サイクルタイム: 40秒(全自動式)

動力: 100馬力(37KW×2基)

新断用プレス 100-OPR

他に220^{mm}、300^{mm}、400^{mm}仕様もございます。



—— 誠実をモットーに業界に奉仕 ——

三浦機工株式会社

本 社

福島県郡山市喜久田町堀之内字釜場西18の28

電話(024)959-2613

FAX(024)959-2024

地球の未来を担うリサイクル技術

YAMANA K A

本社 〒212-0012 川崎市幸区中幸町3-3-1 Tel.044(522)1161

工場 川崎・横浜・大和・綾瀬・相模原・多摩・市原・戸田・
 栃木・騎西・白井・高崎・寄居・藤沢・仙台・小名浜・
 山形・北上・秋田・郡山

名古屋 市況底値感広がり月初の荷動き鈍る

(名古屋) 名古屋地区の電炉メーカーは月初前月末価格(H2実勢値3万~3万500円中心)据え置き横すべりスタートしている。前月29日からトピー工業は購入価格一律1,500円方の改定上げを実施しているが、他電炉筋に動きなく様子見対応で4月入りしている。

東京製鉄は1日から宇都宮工場に限定して購入価格一律1,000円値上げしている。関東湾岸の市況上伸に対応したものと見られており、他4工場はいずれも据え置いた。田原工場の陸海上特級3万2,000円は前月13日以降変わっていない。地区市況は前月後半以降値動きなく、ことに同下旬に入り関東地区湾岸を中心と

した需給の引締め感から、市中には底値感ムードが広がりはじめていた。他社に先行して下げていたトピー工業は同29日から急きょ安値修正(一律1,500円)上げに動いた形である。

輸出の引合いは東南アジア方面で上向いているものの、韓国筋からの買いは足下H2FOB3万2,000円見当が好値と言われており、減産を要因に引合いは伸び悩みが伝えられている。3カ月半余りの市況急落の後だけに、業者間には先行き期待感も広がる格好にあり、月上旬にかけての荷動きは鈍ることも予想されている。

新英金属豊橋工場のリフレッシュ工事完了 環境対策含めリサイクルの最先端工場が完成

(名古屋) 新英金属株式会社(本社=安城市住吉町3丁目12番1号、金子豊久社長)の豊橋工場(豊橋市大岩町久保田48-58)は11年秋から順次進めていたリフレッシュ工事がこのほど完了、3月28日に竣工式を行い本格稼働を開始している。

同社の豊橋工場は東三河及び静岡県全域を主な集荷エリアとして昭和56年に開設。12年夏に完了した第1期工事では東工場(非鉄金属及び工場発生物の専用工場)を新設、今回の第2期工事では約2,000㎡の西工場(ギロ材加工の専用工場)を新設して国内全工場で屋内作業が可能となった。

工場建屋の新設に伴いギロチンも1,600トンシャー(モリタ環境テック製)にリプレース。防振装置の設置や業界初の試みとなる製品ピット内へ集塵機を設置し粉塵の飛散を未然に防ぎ工場内の作業環境を改善する工夫も凝らした。また、シャーは工場に対して垂直に配置することによって作業スペースの効率利用と安全性の向上も図った。工場建屋には西工場同様に太陽

光発電(100kw/h)も設置。さらに将来の遠隔地への輸出を想定し港にも近い同工場にコンテナ積み専用機(A-WARD社製)も導入した。

第2期工事での総投資額は約10億円ながら、建屋をRC造からS造にしたことで耐震強度を保ちつつ建築コストの削減も可能となった。

金子社長は「豊橋工場はリサイクルビジネスに携わる人々の思いの詰まった工場になった。これからも業界の地位向上のため、環境対策を含む様々なことにチャレンジしていきたい」と話している。



ギロ材加工の専用工場

大同特殊鋼4月1日付(一部3月31日付)組織変更と人事異動

(名古屋) 大同特殊鋼はこのほど組織変更と人事異動を行った。

組織変更では3月31日付けで研究開発本部プロセス技術開発センター「プロセス分析・評価技術研究室」を廃止する。4月1日付けで研究開発本部電磁材料研究所「電磁材料研究室」を「磁石材料第一研究室」と「磁石材料第二研究室」に改編する。また、特殊鋼製品本部内に「輸出第一室」と「輸出第二室」を新設する。

4月1日付け人事異動(敬称略)。

[常務取締役]▷リスクマネジメント・コンプライアンス、経営企画部、関連事業部、海外事業部、調達部(リスクマネジメント・コンプライアンス、経営企画部、関連事業部、海外事業部)新貝元

[取締役]▷環境部(環境部、総務部、人事部、安全推進部、調達部)西村司▷総務部、人事部、安全推進部(特殊鋼製品本部工具鋼事業部長委嘱)平林一彦(以下続報)


新日鐵住金ステンレス株式会社
中部地区主要問屋

地球にやさしい金属リサイクルを推進し、ステンレススクラップ業界No.1を目指します

2003年11月20日 同時認証取得




ISO9001 ISO14001
適応範囲: 本社ヤード・第二ヤード



ステンレススクラップ全般

MNT 株式会社 ミナト商事
Minato Shoji Co., Ltd. 代表取締役社長 橋本昭男

本社ヤード(300系): 愛知県弥富市神戸6丁目10-1
TEL.0567-52-4730(代) FAX.0567-52-4731
第二ヤード(特金系): 愛知県弥富市神戸6丁目10-4
空見ヤード(400系): 愛知県名古屋市港区空見町37-1
URL: <http://www.minato-shoji.co.jp>
E-mail: mnt-stainless@minato-shoji.co.jp

荷役作業全般
関連会社: 株式会社 港興産

大阪 引き続き在庫レベル高く様子見の展開

時間とともに需給タイト化の兆し

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は様子見横ばい。電炉在庫は全体的に高いまま4月入りを迎えたものの、一部電炉筋では購入ソースを絞りつつも、前月比で購入量は上向く気配にあるため、時間の経過とともに需給タイト化の兆しを見せ始めてきそう。同地区電炉のH2実勢値は3万500～1,000円(一部上値3万1,500円)、新断バラ実勢値は3万2,500～3万3,500円(一部上値3万4,000円)、鋼ダライ粉バラ実勢値は2万7,500～2万8,000円(一部上値2万8,500円)見当と2週間にわたって横滑りがつづいている。

先週後半から在庫調整による荷止め・制限が本格化し、フリー荷受け筋は当初の予定以上に入荷増が伝えられたため、全体的に潤沢な在庫を抱えたまま月替わ

りを迎えており、需給環境に大きな変化はない。

ただ、月内には関西鉄源連合会の共同輸出船積み(5,000ト)が行われるほか、高炉需要を下支えに、湾岸筋の上級ヘビーに対する引き合いは残っているため、輸出船積み分を含め、月内にかけて相当数量の市中玉が湾岸へ向けられる公算が高い。また、在庫調整を理由に、3月中に大幅な購入制限を実施した一部電炉筋が4月に関しては購入ソースを絞った上での購入増枠が伝えられており、3月以上に電炉向けは分散する傾向にあるため、「電炉値上げの表面化には時間がかかりそうだが、HSやヘビーのタイト化は避け難い。品種によって多少の値戻し期待は持てそう」(ヤード業者筋)との声が聞かれる。

新断バラ相場は様子見横ばいも、需給引き締め感に欠く展開

(大阪) 新断バラ相場は先月下旬以降、様子見状態がつづいている。1日時点でのヤード業者筋の仕切り値は持ち込みトン当たり2万9,000～3万円見当が目安である。

月央以降、電炉筋の価格抑制がヘビーや鋼ダライ粉の高値調整にとどまっており、新断については東京製鉄岡山工場の購入価格と同様、先月13日から変化は見られない。同地区電炉の新断バラ実勢値は3万2,500～3万3,500円(一部上値3万4,000円)見当と横ばい推移していることを理由に、ヤード業者筋全般に月央から仕入れ価格の据え置きをつづけている。

自動車関連の工場からは3月も安定した発生量が伝

えられ、殺到までいかないにせよ、ヤード入荷も高いレベルを維持したようだ。消費増税後の反動減が囁かれるものの、「大型連休のある5月からが気掛かりだが、4月は多少の落ち込みがあっても、3月同様、引き続き高い水準になりそう」(ヤード業者筋)との声が聞かれる。一方、3月の一部の制限買いに伴い、複数の大口需要家が好調な入荷を保ったため、全体在庫量で新断の占める割合は高い状況にあるようだ。市況底入れ気配ながらも、高炉メーカーの市中手当てがHSに限られている分、今のところ需給引き締め感に欠いている。

安田金属(広島県)、二軸破碎機を増設、アルミ缶選別機を新たに導入する

(広島) 安田金属(安田秀吉社長: 広島県廿日市市)は2月28日、廿日市古紙プラザ(廿日市市木材港北3-11)に機密書類の破碎用として二軸破碎機を増設、アルミ缶選別機破碎機を新たに導入した。両機ともに商研製で破碎機は2台目。処理能力の幅を広げることで

大幅に作業効率をアップさせた。

同社は鉄・非鉄スクラップの他には廃プラ・古紙・OA機器を扱う。近年では小型家電リサイクル法に基づいた広域認定事業者に選ばれるなど活躍が目覚ましい。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本 社	大阪市淀川区三国本町1丁目17-19 TEL (06) 6393-8401(代) FAX (06) 6399-0313 ISO14001認証取得
野中工場	大阪市淀川区野中北通1-1 TEL (06) 6393-8027
三重支店	三重県伊賀市予野4938-120 TEL (0595) 20-1601 FAX (0595) 20-1602 ISO14001認証取得
エコ・リサイクルラボ	三重県伊賀市予野4949-15

スクラップ処理 中古機械 売買 修理 輸出

機械の修理・整備は任せて安心!

アフターサービスは万全 対応は迅速&確実

お気軽にお電話下さい
(06) 6632-0638

橋本機械株式会社

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西1丁目2-5
TEL (06) 6632-0638・6641-9902 FAX (06) 6644-3591




非鉄 銅スタート建値、1万円上げの73万円

JX日鉱日石金属は1日、銅建値を前月末から1^{キロ}あたり10円上げの730円に改定した。海外相場の小反発と為替の円安を反映。3月の月間平均建値は731.0円に確定した。建値改定により、銅スクラップの市中価格は8円前後の値上がりが見込まれる。

3月は大幅安に下落したLME銅価格だが、前週はジリ高の推移に転換。現地28日には6,667^{ドル}(セツルメント)に上昇し、約半月ぶりの水準に値戻りした。中国の李克強首相が「減速する経済を下支える用意がある」と発言したことを受け、景気刺激策に対する期待が台頭し上値追いの動きとなった。

ただ、投機筋には現地1日に発表される中国製造業購買担当者景況指数(PMI)に対する懐疑的な見方もある。目先は慎重な相場展開となりそうだ。

非鉄地金建値推移 (円/kg)

	銅	亜鉛	鉛
1月平均	808.4	262.6	286.7
2月平均	781.0	256.6	275.0
3月平均	731.0	255.0	270.0
3月13日	710		
14日		250	
17日			265
19日	700	245	
26日	720	250	
4月1日	730	253	270

一方、為替相場は円安寄りの推移。1日のTTSは1^{ドル}=104.20円で、前回の建値改定時の103.34円に対し0.86円の円安となった。

銅建値と亜鉛建値の改定で、黄銅削り粉建値は7円上げの490円に上昇。銅スクラップの市中実勢価格(関東地区)は、1号銅線が645~660円、上銅新切が625~635円、下銅が555~565円、黄銅ドライ粉が420~430円見当に上がる見通しだ。

LME相場、他(現地31日)					
	31日前場	前日比(ドル/t)	在庫量	前日比	前月平均
銅	6,636.00	-31.00	265,175	-2,025	7,152.15
鉛	2,041.00	-17.00	200,325	-50	2,110.48
亜鉛	1,981.00	0.00	779,600	2,025	2,035.40
アルミ	1,730.50	21.00	5,381,900	-5,200	1,693.85
アルミ合金	1,900.00	-10.00	54,760	0	1,784.75
ニッケル	15,735.00	-35.00	284,694	-768	14,194.50
錫	23,025.00	-25.00	9,555	10	22,809.25
モリブデン	23,500.00	0.00	162	-6	22,827.50
コバルト	31,000.00	500.00	567	0	31,515.50
金(NY)	1,283.40	-10.40	—	—	1,300.98
原油(NY)	101.58	-0.09	—	—	100.68
為替TTS(ドル/円)	104.20	0.28	—	—	103.14

※金は1troy ounceあたり※原油は1バレルあたりの5月限※為替は日本時間4月1日のTTS

亜鉛建値は3千円上げ、25万3千円 鉛建値は5千円上げ27万円

三井金属は1日、亜鉛建値を前月末から1^{キロ}あたり3円上げの253円に改定した。3月の月間平均は255.0円に確定した。

また、三菱マテリアルの発表による鉛建値は、前月末から5円上げの270円。3月の月間平均も同値で、270.0円となった。

2月の電気銅生産は12万2千^{トン} 前年比9%増

経済産業省の鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計(速報)によると、2014年2月の電気銅生産量は前月比1.6%減、前年同月比9.6%増の12万2465^{トン}だった。銅製品の生産増による堅調な需要を背景に、前年の水準から2桁近い増産となった。

亜鉛地金生産量は前月比13.8%減、前年同月比6.3%増の4万8862^{トン}だった。

非鉄地金生産推移

	電気銅生産		亜鉛地金生産	
	数量(t)	前年比(%)	数量(t)	前年比(%)
2013年4月	120,912	▲6.8	46,233	▲0.4
5月	131,211	▲1.5	54,540	2.2
6月	125,575	▲3.4	51,718	2.9
7月	125,118	▲4.4	37,524	▲1.2
8月	124,415	▲2.8	45,852	46.2
9月	118,729	▲7.2	44,820	▲1.2
10月	123,590	▲5.4	44,632	▲3.4
11月	107,016	▲9.3	51,140	▲1.8
12月	132,490	2.3	54,309	1.2
2014年1月	124,414	▲2.6	56,695	3.1
2月	122,465	9.6	48,862	6.3

非鉄金属・ステンレスの関連データの最新版(月間平均の推移)を

銅建値、亜鉛建値、鉛建値、為替・LME相場、銅指標相場
アルミ指標相場、ニッケル・ステンレス相場

月初にPDFデータでお届けします

サンプル

ニッケル・ステンレススクラップ相場.pdf

LMEニッケル・ステンレススクラップ相場推移									
年	月	日	1日平均	2日平均	3日平均	4日平均	5日平均	6日平均	7日平均
2008	12	31	24,954	24,954	24,954	24,954	24,954	24,954	24,954
2009	1	31	21,111	21,111	21,111	21,111	21,111	21,111	21,111
2010	1	31	19,189	19,189	19,189	19,189	19,189	19,189	19,189
2011	1	31	21,889	21,889	21,889	21,889	21,889	21,889	21,889
2012	1	31	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856
2013	1	31	28,812	28,812	28,812	28,812	28,812	28,812	28,812
2014	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2015	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2016	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2017	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2018	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2019	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2020	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2021	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2022	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2023	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2024	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2025	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2026	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2027	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2028	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2029	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
2030	1	31	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910	24,910

■配信料金

E-mail版: 年間12,000円(税込)

FAX版: 年間12,000円(税込)

■非鉄関連データ・LME相場データセット

E-mail版: 年間30,000円(税込)

FAX版: 年間30,000円(税込)

非鉄関連データ配信サービス

●お問い合わせ、お申し込みは日刊市況通信社まで

東京 tokyo@mrj.jp 大阪 osaka@mrj.jp
名古屋 nagoya@mrj.jp

鉄スクラップ相場

為替TTS(1日)
104.20円/ドル

問屋持込み価格

(単位: 千円/t)

品 目	東 京	名古屋	大 阪	仙 台	北関東	静 岡	姫 路	広 島	北九州
H S (甲 山)	17.0	18.5	24.1	16.0	17.0	17.0	23.9	24.8	25.2
H A (H 1)	16.0	17.5	23.1	15.0	16.0	15.5	23.9	23.1	23.4
H B (H 2)	15.5	17.0	22.1	14.5	15.5	15.0	22.8	21.9	22.6
H C (H 3)	—	15.5	21.1	—	—	—	21.9	21.5	22.4
新 断 バ ラ A	18.5	21.8	24.0	17.5	18.5	20.5	24.4	25.3	25.9
〃 B	17.5	21.3	23.0	16.5	17.5	19.0	23.1	24.3	24.9
ギ ロ チ ン 材 A	14.5	16.5	21.5	13.5	14.5	15.0	22.9	22.1	22.7
〃 B	13.5	15.5	19.5	12.5	13.5	14.0	21.5	20.8	22.3
〃 C	8.5	13.0	16.5	7.5	8.5	11.0	20.5	20.0	21.5
鋼 ダ ラ イ 粉 A	13.0	12.0	19.0	12.0	13.0	10.5	22.0	23.6	25.0
〃 B	12.0	11.0	18.0	11.0	12.0	9.5	21.0	20.6	24.0
故 銑	13.0	—	—	12.0	13.0	—	—	19.0	—
モーターブロック	14.0	15.5	19.0	13.0	14.0	12.5	22.7	23.6	25.5
銑 ダ ラ イ 粉 (上)	14.0	13.0	—	13.0	14.0	11.5	25.0	24.9	28.0
〃 (並)	12.0	11.0	18.0	11.0	12.0	9.5	22.0	24.1	25.2
ガ ス 材	—	—	実費	—	—	—	実費	実費	実費
廃 車 ガ ラ	6.0	8.5	10.5	5.0	6.0	8.0	—	—	16.5
廃 車 プ レ ス	—	9.0	13.0	—	—	8.5	14.0	—	17.7
飲 料 缶 ・ 食 缶	6.5	9.0	—	5.5	6.5	8.5	—	—	—
ペール缶・一斗缶等	6.5	8.0	7.5	5.5	6.5	7.5	—	—	—
ド ラ ム 缶	6.5	9.0	14.5	5.5	6.5	8.5	17.5	18.4	20.0

メーカー持込み代納価格

(単位: 千円/t)

H 2 浜値(FAS)
(単位: 千円/t)東 京
29.5名古屋
29.0富 山
27.5

可 鍛 コ ロ 上	42.5	41.0	40.4	42.5	42.5	41.5	37.6	36.6	40.7
(配 合 甲 山) 中	39.5	39.0	36.7	39.5	39.5	38.5	—	34.1	36.0
下	35.0	34.0	34.7	—	35.0	35.1	—	32.1	—
H S	23.5	23.0	30.0	23.5	23.5	20.7	29.8	27.9	31.1
H 1	21.5	22.0	29.5	21.5	21.5	20.1	28.8	26.7	29.3
H 2	20.5	21.0	28.0	20.5	20.5	19.5	27.8	25.6	29.0
H 3	18.0	18.0	27.0	18.0	18.0	17.5	26.8	25.2	28.3
L 1	—	—	26.0	—	—	—	23.8	21.3	24.3
缶 プ レ ス C	17.0	13.5	24.5	17.0	17.0	12.5	24.0	23.9	28.8
シュレ ッ ダ ー A	21.5	19.1	28.5	21.5	21.5	17.6	28.8	24.2	29.5
〃 B	19.5	17.1	25.5	19.5	19.5	15.6	23.7	23.5	27.1
A P (Cu0.3%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新 断 プ レ ス	25.0	26.5	30.5	25.0	25.0	23.7	29.8	28.2	32.4
新 断 バ ラ	24.0	26.0	30.5	24.0	24.0	23.2	29.3	28.2	32.4
鋼 ダ ラ イ 粉	17.0	15.5	25.0	17.0	17.0	11.5	25.0	26.5	28.0

主要鋼材価格

(単位: 千円/t)

製鋼用銑(輸入・財務省統計2月平均) 36.0
鋳物用銑(国内銑・炉前) 70.0

品 目	東 京	名古屋	大 阪	品 目	東 京	名古屋	大 阪
◇丸棒 16~25(構造)	105	123	100	◇冷延鋼板 0.8(3×6)	79	81	76
◇異形棒鋼 10(S D295)	73	71	70	1.0(3×6)	77	80	74
13	71	69	68				
16~25	69	67	66				
◇平鋼 6×50	95	86	85				
◇溝形鋼 5×50×100	82	82	80				
◇等辺山形鋼 3×25	93	92	93				
6×50	80	82	83				
◇不等辺山形鋼 7×75×100	106	110	101				
12×90×150	106	110	101				
◇H形鋼 5/7×100×50	98	103	102				
5/7×150×75	84	85	84				
◇I形鋼 5.5×75×125	129	126	120				
7×100×200	110	98	90				
◇角鋼 16ミリ	119	116	112				
50ミリ	119	117	113				
◇厚板 16/19/22/25(5×10)	76	85	77				
◇熱延鋼板 1.6	68	70	70				
2.3	65	67	66				

信用

信頼

実績

価格

ステンレス・
特殊金属原料

伊藤金属商事株式会社

本社工場/〒498-0066 愛知県弥富市楠一丁目52番5

TEL(0567)66-5133・5136

FAX(0567)66-5173

www.itou-kinzoku-shoji.jp

飛 鳥 工 場/愛知県海部郡飛鳥村元起四丁目92番地

木曾峠工場/三重県桑名郡木曾峠町大字源緑輪中1183-1

お問合せ info@itou-kinzoku-shoji.jp



非鉄スクラップ相場(4月1日調べ ○は上げ▽は下げ)
(問屋持込み価格・数量1t以上・単位:円/kg)為替TTS(1日)
104.20円/ドル**銅系**

品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
一号銅線・ピカ線	○ 621	○ 619	○ 621	○ 620
上 銅 ・ 新	○ 600	○ 596	○ 602	○ 594
二 号 銅 線	○ 557	○ 545	○ 559	○ 551
並 銅	○ 564	○ 559	○ 559	○ 559
下 銅	○ 543	○ 537	○ 537	○ 535
銅 削 粉	○ 537	○ 535	○ 537	○ 532
3号ナゲット銅	○ 561	○ 562	○ 562	○ 560
廃被覆電線(40%)	○ 215	○ 209	○ 221	○ 212
銅 滓(30%)	19	—	16	16
新切黄銅・セバ	○ 428	○ 429	○ 423	○ 422
新切黄銅・コーペル	○ 403	○ 399	○ 399	○ 397
黄 銅 棒 地	○ 388	○ 381	○ 382	○ 378
黄 銅 削 粉	○ 382	○ 379	○ 379	○ 376
並 黄 銅	○ 331	○ 331	○ 330	○ 329
黄 銅 鋳 物	○ 349	○ 351	○ 351	○ 341
上 青 銅 鋳 物	○ 461	○ 459	○ 464	○ 462
並 青 銅 鋳 物	○ 448	○ 445	○ 445	○ 450
青 銅 削 粉	○ 439	○ 439	○ 444	○ 447
新切リン青銅・伸銅向け	○ 597	—	○ 598	○ 598
錫 1 号	2060	2060	2060	2060
青 銅 合 金 6 種	○ 750	○ 750	○ 750	○ 750

亜鉛・鉛

品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
亜 鉛 新 切	○ 80	○ 80	○ 81	○ 78
亜 鉛 合 金	○ 56	○ 59	○ 55	○ 56
亜 鉛 ド ロ ス	○ 62	○ 63	○ 61	○ 56
再 生 亜 鉛(98)	○ 190	○ 190	○ 190	○ 190
再 生 鉛 3 号	○ 222	○ 222	○ 222	○ 222
上 鉛	○ 110	○ 110	○ 107	○ 109

ステンレス・特金

品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
ニ ッ ケ ル 地 金	1280	1280	1280	1280
ニ ッ ケ ル ・ シ ャ プ リ	878	878	878	878
42 ア ロ イ	358	358	358	358
S U S 304 新 切	100	100	100	100
S U S 304 削 粉	85	85	85	85
S U S 3 1 6	150	150	150	150
S U S 3 1 0	220	220	220	220
ク ロ ー ム 新 切	28	28	28	28
ハ イ ス 9 種	145	145	145	145
超 硬 チ ッ プ	900	900	900	900
純チタン(鉄鋼添加用)	140	140	140	140

古紙相場

(関東地区直納問屋ヤード持込 円/kg)

新 聞	6~8	段 ボ ー ル	7~9
雑 誌	5~7	色 上 (並)	5~7

山元建値

電 気 銅	730(1日)	貴金属価格	(1日)
電 気 鉛	270(1日)	金建値(g)	4,281円
電気亜鉛	253(1日)	銀建値(kg)	66,790円

アルミ系

品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
アルミ新塊(99.7)	○ 214	○ 214	○ 214	○ 214
A D 12.1	257	257	257	257
再 生 塊 (90)	167	167	167	167
新 切 アル ミ 1 級	122	122	120	118
6 3 サ ッ シ アル ミ	116	116	114	114
アル ミ 印 刷 板	123	121	121	121
一 品 合 金	110	108	109	108
合 金 アル ミ 新	107	105	105	105
機 械 鋳 物	100	101	102	100
ビス付サッシ・バラ	99	99	99	99
込 み ガ ラ	82	83	83	83
アル ミ 合 金 削 粉	82	85	83	84
アル ミ 缶 A プ レ ス	89	85	87	86
アル ミ 缶 バ ラ	73	72	69	70

自動車関連触 媒 は
1個当り円

品 目	東 京	名古屋	大 阪	北九州
足 回 り ・ シ ャ ー シ	11.5	13.0	13.0	13.0
ボ ディ ガ ラ (-30%)	7.5	8.0	8.0	8.0
ハ ー ネ ス	210	210	210	210
アルミホイール(1ピース)	115	115	115	115
セル・ダイナモ	75	75	75	75
アルミラジエーター	38	38	38	38
白 黒 エ ン ジ ン	36	37	37	37
触 媒 ・ 大	5500	5500	5500	5500
触 媒 ・ 小	1000	1000	1000	1000
自動車用廃バッテリー	40	40	40	40

船積み用廃モーター等(指定置場・持込み相場)

品 目	東 京	名古屋	富 山	大 阪	北九州
廃モーター(交 流)	30	30	—	30	30
廃クーラー(業務用)	39	41	—	41	41
配 電 盤 そ の 他	17.0	16.5	—	17.0	16.5

大阪市北港 USJ岸壁近くに新ヤード開設

—中国向け雑品各種 高価買取—
モーター・上雑品各種・電線・湯沸器
鉄ガス切り材・ギロチン材
アルミ屑全般・込真鍮・空調
機械・中古品各種取扱い

人と地球にやさしい直輸出商

株式会社 トーナイ (東内)

大阪市此花区梅町2丁目3-24
(ユニバーサルシティ降りてすぐ東洋埠頭手前)
フリーダイヤル: 0120-535319

CCIC: A392080389/高機本社中間処理工場
〒569-0847 大阪府高槻市西面南4-17-7(本社)
TEL (072) 678-1112 FAX (072) 678-1114

<http://www.tohnai.com/> (買取相場表更新中)